

第1・2・3学年 「伊平屋島伝統文化学習・地域探求学習」 学習指導案

沖縄県伊平屋村立伊平屋中学校

教頭 高良 直人

1 単元名 「伊平屋島伝統文化学習・地域探求学習」総合的な学習の時間

2 単元の目標

- ・伊平屋島の貴重な文化遺産や豊かな自然について学び、身近にある地域資源についての知識を深める。また、習得した知識をレポートやプレゼン等でまとめる。（知識・技能）
- ・伊平屋島の貴重な文化遺産や豊かな自然を守るため、様々な取り組みが行われているが、地域に住む者として、何ができるのか？友人たちと共に考える。また、この環境を後世に残していくためには何が必要なのか？課題を探究していく。（思考・判断・表現）
- ・伊平屋島の貴重な文化遺産（民俗芸能）の今後のあり方について考え、皆で共有しながら、保全のための活動「伝統文化学習」に参加する。（主体的に学習に取り組む態度）

3 単元について

（1）教材観

- ・身近にある伊平屋島の貴重な文化遺産や豊かな自然は、伊平屋島特有のものが数多く存在している。この豊かな地域資源について直に触れて、学び、探求活動を行うことはSDGsの「多様性」「相互性」にも結びつく深い学習になると考える。
- ・伊平屋島の貴重な文化遺産（民俗芸能）や、伊平屋特有の自然保全活動に携わっている人々を訪ね、実際の活動の様子を学ばせる。その中から、地域資源や環境にも目を向けさせることができる。そうすることで、「持続可能な社会」への関心も引き出し、今後の生徒自らの生き方や、学習活動への意欲や意識付けにも繋がるものと考え。
- ・伝統文化学習や地域探求学習を通して、仲間たちと協力しながら主体的に学び合い、活動を行うことで、自分の生活や地域との関わり方を見つめ直す良い機会にもなる。特に伝統文化学習においては、地域講師の方々から直に学ぶことが出来、世代間の交流や地域社会のあり方・課題にも目を配り、今後の生き方や伊平屋島に対する郷土愛を培うためにも、良い教材になるのではないだろうか。

（2）生徒観

- ・本校の全校生徒は38名で、男女ともに仲が良く、「伊平屋じゅ〜て〜（伊平屋のおもてなし）」という言葉があるように、優しく素直で穏やかな生徒が多い。
- ・伝統文化学習等についての事前アンケートを実施した。結果は次の通りである。
「Q 伝統文化学習の日の活動は楽しいですか？」
「A （よくあてはまる 58.8%）（ややあてはまる 32.4%）と肯定的な意見が 91.2%」
「Q あなたは、伊平屋島に誇りや魅力を感じていますか？」
「A （よくあてはまる 64.7%）（ややあてはまる 32.4%）と肯定的な意見が 97.1%」
この結果からも、伝統文化学習への関心や伊平屋島への誇りや魅力を感じている生徒が多いことが分かる。また、地域や社会に係わる総合的な学習になるよう意欲的に取り組みたいという意見も多く寄せられている。

(3) 指導観

・本単元の指導にあたっては、まず、「伊平屋島の貴重な文化・歴史遺産や豊かな自然」について事前学習を行う。生徒観でも述べたように、伊平屋島に誇りや魅力を感じている生徒が多い。伊平屋村歴史民族資料館で調べ学習を行い、考えさせる。(伝統文化学習はコースの選定を行い演舞指導を受ける)

・また、伊平屋島の自然環境の保全や地場産業に係わる方を講師として招き、伊平屋島の文化遺産・歴史遺産・自然遺産の概要と現状、課題について学ばせる。自ら、調べた内容と現地で活躍している人の講話を聞いてさらに、郷土の知識・理解を深めさせる。

・小グループに分かれて、フィールドワークや伝統文化学習を行うが、仲間で協力して学習させることで、次のE S D資質能力等の育成にも結びつけていきたい。

(4) E S Dとの関連

・本学習で働かせるE S Dの視点(見方・考え方)

- 相互性・・・伊平屋島には、貴重な文化・歴史遺産・豊かな自然が残されているが、継承と環境保全で、様々な課題があり、存続が危ぶまれている現状もある。
- 連携性・・・伊平屋島の文化・歴史遺産・豊かな自然を守るため様々な取り組みがなされているが、地域に住む者として何ができるかを一緒に考える必要がある。
- 責任性・・・伊平屋島の文化・歴史遺産・豊かな自然を守るため、私たち地域住民が、今後のあり方について真剣について考え、課題をどう解決していくのか？
- また、保全のための取り組みや活動を実践していくことが大切である。

・本学習を通して育てたいE S Dの資質・能力

「多面的・総合的に考える力」

伊平屋島の文化・歴史遺産・豊かな自然が地域の資源として、人・社会・自然など様々なものと繋がっていることを理解させ、多面的・総合的に考える力を培う。

「他者と協力する態度」

伝統文化学習や地域探求学習を通じ、他者の立場に立ち、他者の考えや行動に共感するとともに、他者と協力・協同してものごとを進めようとする態度を培う。

「つながりを尊重する態度」

伝統文化学習・地域探求学習を通して、人・社会・自然などと自分の繋がり・関わりに関心を持ち、それらを尊重し大切にしようとする態度を培う。

・本学習で変容を促すE S Dの価値観

「自然環境や生態系保全を重視する(人と環境との関係)」

人は自然の一部だということを改めて認識させ、伊平屋の貴重で豊かな自然の魅力や現状を知り、地域の環境を守るために何ができるのか？を考えさせる。

「環境と社会生活＝幸福感を大切にする(人と人との関係)」

身近にある伊平屋島の貴重な文化・歴史遺産・豊かな自然に恩恵を受けていることを大観させる。また、先人たちが、環境に配慮しながら、文化・歴史遺産・豊かな自然を残してきた実績や背景も大観させる。先人たちに習い伝統文化の継承や環境に配慮しながら社会生活を営むことが、持続可能な社会作りに繋がることを理解させる。

「世代間の公正＝過去世代及び将来世代(次世代に対する責任)」

伊平屋島の貴重な文化・歴史遺産・豊かな自然の保全のための、先人たちの苦労や努力を尊重し、あるべき未来像（ビジョン）を予想させ、後生に残していくために何ができるかを考えさせる。持続可能な社会作りのための実際の行動を促す。

・達成が期待されるSDGs

「⑪住み続けられるまちづくりを」

「⑬気候変動に具体的な対策を」

「⑭海の豊かさを守ろう」

「⑮陸の豊かさを守ろう」



4 単元の評価規準

(ア) 知識及び技能	(イ) 思考力・判断力・表現力等	(ウ) 主体的に学習に取り組む態度
①伊平屋島の貴重な文化・歴史遺産や豊かな自然について学び貴重な地域資源について知識を深めている。	①伊平屋島の貴重な文化・歴史遺産・豊かな自然を守るため、地域に住む者として何ができるのかについて考えている。	①伊平屋島の貴重な文化・歴史遺産・豊かな自然の、今後のあり方について考え、保全のための活動で何ができるのかを考え、実際に係わることができた。
②習得した知識や技能を活用し、演じたり、レポートやプレゼンなどでまとめている。	②文化・歴史遺産や環境を後世に残していくため何が必要なのか？課題を探究している。また、伝統芸能について学び、演舞・発表している。	②「伝統文化学習」で学んだことを、意欲的に地域の人に演舞・発表している。

5 単元の指導計画（全9時間）

学習活動	○学習への支援	○評価・備考
1 事前学習（ガイダンス） 「伊平屋島の貴重な文化・歴史遺産や豊かな自然について」 ・伊平屋島には豊かな自然環境が数多く残されてる。 ・伊平屋島には貴重な文化・歴史遺産・豊かな自然遺産が数多く残されている。 ・「伝統文化学習」「地域探求学習」で何を調べたいのか？どんな体験をしたいのか？個人やみんなで考える。	・事前学習「ガイダンス」を通して「伊平屋島の貴重な文化・歴史遺産や貴重で豊かな自然について」の概要を説明して生徒の興味・関心を導き出す。 ・これからの学習に対する見通しを持たせ、どんなことを学びたいのか？どんな体験をしたいのか？を考えさせる。 ・伊平屋村観光交通課より講師を招き実施。	～見つめる①～ (ア) (地・技) (イ) (思・判・表)

2・3 「伊平屋島の貴重な文化歴史遺産・豊かな自然」 ～伊平屋村地域観光課より講師を招いて講演会～ (伊平屋村ヤイトハタ養殖場にて実施)	・「伊平屋島の文化・歴史遺産や貴重で豊かな自然」についての魅力や、今ある課題について、話してもらい、探究学習の道標とする。	～見つめる②③～ (ア) (地・技) (イ) (思・判・表)
--	--	---

4・5 「伝統文化学習」「地域探求学習」について調べ学習 ・個人やグループで、伊平屋島の伝統文化・歴史遺産や豊かな自然について調べる。 ・「伝統文化学習」のコースを決定する。	・伝統文化学習に何を学びたいのかを考えさせ希望するコースにはまるようにフォローする。 ・地域探求学習が上手くいくように講師の紹介や地域の企業についてパイプ役になる。	～見つめる④⑤～ (ア) (地・技) (イ) (思・判・表) (ウ) (主体的)
6・7・8 ・「伝統文化学習」 ・「地域探求学習」 ・実際に各コースで活動する。 ・演舞指導をしてくれる講師の方に感謝し、地域の伝統芸能に触れ学ぶ。 ・個人やグループで講師の話を聞き学習・体験する。 ・それぞれが、調べたい課題について実際に見聞し学習する。 ・学んだことや発見したものは、タブレットで写真を撮り、事後学習用の資料も集める。	・「伝統文化学習」「地域探求学習」が有意義に実践出来るように講師に方と連携・調整を図る。 ・各担当の方と連携がしっかりとれるように。 ・探求学習が上手くいくように事前準備をしっかり行い、生徒への丁寧な声かけ支援を行う。 ・この活動が生徒の主体的なものとなるように温かく見守る。	～深める⑥⑦⑧～ ～体験する～ (ア) (地・技) (イ) (思・判・表) (ウ) (主体的)
9・10・11 「伝統文化学習発表会」 「伊平屋中フェスティバル」 ・学んだことや発見したことをまとめ、発表する。 ・伊平屋島の貴重な文化・歴史遺産・豊かな自然を守るため、何ができるか？皆で考える。	・個人や各グループで協力し、演舞発表やレポート・プレゼンなどでまとめさせる。 ・地域の方々への発表の場・機会を設ける。	～広げる⑨⑩⑪～ (ア) (地・技) (イ) (思・判・表) (ウ) (主体的)

12月～3月 「伊平屋村学習成果発表会」 「伊平屋中フェスティバル」 「伊平屋島歴史文化センター」 にて、展示・発表する。 (地域や観光客に向けて発信)	・学校公開週間を設けて、各グループの資料やプレゼンにて発表し、地域の方に見てもらう。 ・映像を展示発表を実施。	～広げる⑫～ (ア) (地・技) (イ) (思・判・表) (ウ) (主体的)
---	--	---

6 成果と課題①（アンケートの結果から）

16 総合的な学習の一環である伝統文化学習の日の活動は、楽しいと思いますか。 34 件の回答 ・ 1 学期実施 ・ 2 学期実施⇒ ・ 伝統文化学習等についての事前アンケートを実施した。結果は次の通りである。 「Q 伝統文化学習の日の活動は楽しいと思いますか？」 1 学期「A（よくあてはまる58.8%）（ややあてはまる 32.4%）と肯定的な意見が91.2%」 2 学期「A（よくあてはまる59.4%）（ややあてはまる 28.1%）と肯定的な意見が87.5%」 考察：1学期に比べ、肯定的な意見が3.7%と若干の現象が見られた。その要因として、12月に実施した、「伝統文化学習発表会」の過度な練習が挙げられる。1週間前から本番まで、演舞によっては毎日の練習が強いられてしまった。（次年度の課題）	16 総合的な学習の一環である伝統文化学習の日の活動は、楽しいと思いますか。 32 件の回答 ・ 1 学期実施 ・ 2 学期実施⇒ 「Q あなたは、伊平屋村に誇りや魅力を感じていますか。」 1 学期「A（よくあてはまる 64.7 %）（ややあてはまる 32.4%と肯定的な意見が97.1%」 2 学期「A（よくあてはまる 84.4 %）（ややあてはまる 15.6%と肯定的な意見が100%」 考察：2学期の肯定的な意見が100%と凄い結果が出た。伝統文化学習や地域探求学習で伊平屋島に対する誇りや魅力を実感できた生徒が多くいた結果で、この授業の目標がほぼほぼ達成出来たといえるのではないだろうか。 地域の方々からも称賛の声が届いている。また、講師の方々の温かい支援や御指導もあり、世代間の交流の場としても魅力的な学習と言える。 生徒達も島の先輩方から演舞や「伊平屋じゅ〜て〜」のようなおもてなしの心など直に学ぶことで、伊平屋島の魅力について再認識出来ていると感じる。
21 あなたは、伊平屋村に誇りや魅力を感じていますか。 34 件の回答 ・ 1 学期実施 ・ 2 学期実施⇒ 「Q あなたは、伊平屋島に誇りや魅力を感じていますか？」 1 学期「A（よくあてはまる 64.7 %）（ややあてはまる 32.4%と肯定的な意見が97.1%」 2 学期「A（よくあてはまる 84.4 %）（ややあてはまる 15.6%と肯定的な意見が100%」 考察：2学期の肯定的な意見が100%と凄い結果が出た。伝統文化学習や地域探求学習で伊平屋島に対する誇りや魅力を実感できた生徒が多くいた結果で、この授業の目標がほぼほぼ達成出来たといえるのではないだろうか。 地域の方々からも称賛の声が届いている。また、講師の方々の温かい支援や御指導もあり、世代間の交流の場としても魅力的な学習と言える。 生徒達も島の先輩方から演舞や「伊平屋じゅ〜て〜」のようなおもてなしの心など直に学ぶことで、伊平屋島の魅力について再認識出来ていると感じる。	21 あなたは、伊平屋村に誇りや魅力を感じていますか。 32 件の回答 ・ 1 学期実施 ・ 2 学期実施⇒ 「Q あなたは、伊平屋島に誇りや魅力を感じていますか？」 1 学期「A（よくあてはまる 64.7 %）（ややあてはまる 32.4%と肯定的な意見が97.1%」 2 学期「A（よくあてはまる 84.4 %）（ややあてはまる 15.6%と肯定的な意見が100%」 考察：2学期の肯定的な意見が100%と凄い結果が出た。伝統文化学習や地域探求学習で伊平屋島に対する誇りや魅力を実感できた生徒が多くいた結果で、この授業の目標がほぼほぼ達成出来たといえるのではないだろうか。 地域の方々からも称賛の声が届いている。また、講師の方々の温かい支援や御指導もあり、世代間の交流の場としても魅力的な学習と言える。 生徒達も島の先輩方から演舞や「伊平屋じゅ〜て〜」のようなおもてなしの心など直に学ぶことで、伊平屋島の魅力について再認識出来ていると感じる。

成果と課題② (○⇒成果 △⇒課題)

○単元の目標であげた次の3つがほぼ達成出来たと考える。

①伊平屋島の貴重な文化遺産や豊かな自然について学ぶことができた。実際に「伊平屋村農林水産課（伊平屋村ヤイトハタ養殖場）（もずく養殖場）」「伊平屋村歴史民族資料館」「伊平屋村観光交通科」等に赴き、伊平屋村の現状や産業などの身近にある地域資源について学ぶことが出来た。習得した知識をレポートやプレゼン等でまとめ、伊平屋村学習成果発表会で発表することが出来た。（知識・技能）

②伊平屋島の貴重な文化遺産や豊かな自然を守るための活動を学び、地域に住む者として何ができるのか？友人たちと共に考えることができた。環境保全の取り組みでSDGs パスポートを活用したボランティア活動を実施。30ボランティア認定者（表彰）が6名も出た。（思考・判断・表現）

③伊平屋島の貴重な文化遺産（民俗芸能）について考え皆で共有しながら、保全のための活動「伝統文化学習」に参加することができた。「伝統文化学習発表会」も大成功を収め生徒達からは達成感が感じられた。（主体的に学習に取り組む態度）

○伝統文化学習発表会（地域からの声）

* 伝統文化学習の取り組み内容はとても良いと思いました。学校職員と地域の方々（講師）とのつながりが深まるだけではなく、お互いに連携しながら生徒を見守り、サポートできるので、今後も取り組みを続けて欲しいです。

* 本島から今年来て、発表会を始めて見ましたが、とても感動しました。伝統を受け継ぐ大切さを感じました。授業の一環として取り組み、とても良いと思います。

○本学習で働かせるESDの視点（見方・考え方）について3つの視点、「相互性」「連携性」「責任制」を培うことが出来たと考えている。（詳細は上記にて）

○本学習を通して育てたいESDの資質・能力について「多面的・総合的に考える力」「他者と協力する態度」「つながりを尊重する態度」も学習を通し人・社会・自然と自分の繋がりを感じ、それらを大切にしようとする態度を培うことができた。

○本学習で変容を促すESDの価値観について、「自然環境や生態系保全を重視する（人と環境との関係）」「環境と社会生活＝幸福感を大切にする（人と人との関係）」「世代間の構成＝過去世代及び将来世代（次世代に対する責任）」など地域の先輩方に学びながら、持続可能な社会作りについて考えることができた。

○達成が期待されるSDGs

「⑪住み続けられるまちづくりを」

「⑬気候変動に具体的な対策を」

「⑭海の豊かさを守ろう」

「⑮陸の豊かさを守ろう」



△伝統文化学習の練習時間に放課後や週末の休日にも割り当てられるため、負担が大きい。

△生徒の「なぜ」「何」から始める授業形態にする必要がある。（課題設定や問題提起）など、教師や講師主導の部分が大きい。（もっと生徒の主体性を導き出したい）

△過疎化が本格的に進み、様々な視点から持続可能性を目指して取り組む必要性がある。

中学１・２・３年生 学年の学習終了時に目指す生徒像 ～つながり ひろがり とともに学ぶ 伊平屋島の島発ち教育～ 「視野は世界 視点は郷土～郷土愛を育み、社会的自立を促す～」

○持続可能な社会を目指して、身近な地域の良さ（貴重な歴史遺産や豊かな自然等）や郷土愛について大観・再発見し、自分自身の生活や将来について主体的に考える生徒。（全学年）

○伝統文化学習・探求活動等を通して、地域や他県の歴史・文化・平和について学び考え、現状と課題を明らかにし、課題解決やより良い社会作りに向けて積極的に参画する生徒。（主に２・３年生）

○伊平屋の貴重な歴史遺産や、豊かな自然の保全のための先人達の苦労や努力を尊重し、あるべき未来像（ビジョン）を予想させ、後生に残していくために何ができるかを考えさせる。持続可能な社会作りのための実際の行動を促す。（主に３年生）

伊平屋にはどんな自然
や文化遺産が残されて
いるだろう？

伊平屋の自然や文化遺産
には、どのような価値
があるだろう？

総合的な学習の時間（伝統文化学習・地域探求学習ガイダンス）

○身近にある地域資源「伊平屋にある文化遺産や自然遺産」に目を向けて、その魅力について調べてみよう。（開講式及び講演会）

○問い→伊平屋にある自然や文化遺産を挙げてみよう

○学芸員さんから学んだことを、自分なりにまとめてみよう。

総合的な学習の時間（調べ学習）

【問い】⇒「伊平屋にはどのような貴重な自然や文化遺産が残されているの？」

○国や県指定文化財等に登録されている文化遺産や自然について

「伊平屋島の念頭平松」「クマヤ洞窟(天の岩戸伝説)」「久葉山(クバ)」「

「島尻神アシアゲ」「我喜屋神アシアゲ」「屋蔵墓」等を調べる。

○伊平屋の産業（田名の稲作・もずくやヤイトハタの養殖について）

○伊平屋島の課題について調べてみる。（少子高齢化・エコ・ツーリズム）

【問い】⇒「今後の伊平屋島の展望ってどうなっているの？」

○個人で見学したい場所やインタビューしてみたい人をピックアップする。

○伊平屋島観光協会を訪ねる。（伊平屋ムーンライトマラソン等）

総合的な学習の時間（伝統文化学習・地域探求学習の計画表の作成）

○個人やグループで「伝統文化学習・地域探求学習」のテーマを決定する。

○個人やグループで「伝統文化学習・地域探求学習」のスケジュールを立てよう。

○「伝統文化学習」⇒お世話になる講師の方にインタビュー＆スケジュール作成。

○「地域探求学習」⇒フィールドワークや調べ学習等の調整＆スケジュール作成。

○「伝統文化学習・地域探求学習」について事前調査をして、個人でまとめる。

「伝統文化学習・地域探求学習」～地域の方へのインタビューやフィールドワーク～

「地域の方へのインタビューや友人たちとのフィールドワークを通して、伊平屋の貴重な自然や文化遺産を直に感じ、様々なものを発見し、共有しよう。また、それらを伝承していくために何ができるかみんなで考えてみよう」

【グループワーク】伊平屋にはどのような貴重な自然や文化遺産が残されているの？（インタビュー＆フィールドワーク）

○国及び県指定文化財に登録されている文化遺産や自然について実際に巡ってみよう。

「伊平屋島の念頭平松」「クマヤ洞窟(天の岩戸伝説)」「久葉山(クバ)」「島尻神アシアゲ」

「我喜屋神アシアゲ」「屋蔵墓」等を調べる。

○地域産業「田名の稲作」「もずく・ヤイトハタの養殖」のフィールドワーク（実際に巡る）。

○伊平屋島の観光について、様々な取り組みについて学ぶ。（ムーンライトマラソン等）

○農業・水産業・観光業等々の専門家を探し、実際にインタビューを試みる。（専門家に学ぶ）

「総合的な学習の時間」

「伊平屋伝統文化学習・地域探求学習」

○本学習で働かせるESDの視点（見方・考え方）

相互性…環境保全と観光業との関連で課題が…

連携性…地域に住む者として、何が出来るのか…

責任性…後生に残していくための保全の手立てや支援について…

○本学習を通して育てたいESDの資質・能力

多面的・総合的に考える力…人、文化、社会、自然などとの繋がりについて…

他者と協力する態度…他者と協力、協働し物事を進めようとする態度…

つながりを尊重する態度…様々なものとの繋がりを尊重する態度…

○本学習で変容を促すESDの価値観

伊平屋の原風景・自然環境・生態系保全を重視する（人と環境との関係）

伝統文化・環境と社会生活＝幸福感を大切にする（人與人・人と環境との関係）

世代間の後生＝過去世代及び将来世代（人々との関係）

未来像（ビジョン）を予測し、持続可能な社会づくりを…

○達成が期待されるSDGs

「⑪住み続けられるまちづくりを」

「⑬気候変動に具体的な対策を」

「⑭海の豊かさを守ろう」

「⑮陸の豊かさを守ろう」



伊平屋島にはこんなに貴重な
自然や文化遺産が残されてい
るんだ。実際に見てみた

身近な地域にこんなに貴重な
豊かな自然や文化遺産が残さ
れていることを初めて知った。

○伊平屋の貴重な自然
や文化遺産を後生に残
していくためには、
何が出来るだろう？
○自分事として、考え
よう。（伝統文化学習）

「伊平屋島次世代に残したい原風景」風景写真展
友人たちとのフィールドワークを通して、伊平屋の自然や
文化遺産の美しい風景（写真）を撮ろう。

「天の岩戸伝説」天照大神？

「海の漂流物の課題」？

「エコツーリズム」？

「次世代に残したい伊平屋の原風景」

構想？

国語科

2年生「100年後の水を守る」～理論的に考える～ 伊平屋の環境保全について考える（田名湿地帯）

社会科 地理

2年生「第3章 日本の諸地域 九州地方 南西諸島の自然環境と産業」

※南西諸島特有の自然環境について学ぶ。～地域探求・伊平屋島特有の自然環境について～

※南西諸島特有の産業について学ぶ。～企業訪問・もずく＆ヤイトハタの養殖場巡り～

※沖縄の課題（環境問題）について学び、これからの沖縄の現状について考える。

社会科 歴史

1年生「第2章 4節 琉球とアイヌの人々がつながる交易」

2年生「第3章 3節 人々の結びつきが強まる社会 琉球王国とアイヌの人々への支配」

3年生「第5章 4節 戦局の悪化と戦時下の暮らし」

「第5章 ～歴史をたどろう～ 戦場となった沖縄」

理科

1年生「単元Ⅰ いろいろな生物とその共通点 第Ⅰ章 生物の観察と分類の仕方」

※身近な生物の観察～生物の特徴と分類～身近な植物の分類（学校周辺を探索してみよう）

3年生「単元5 環境～自然界と人間～ 5章 持続可能な社会を目指して」※身近な自然環境の調査

美術 全般

「デザイン」工芸 手から手へ受け継ぐ ～伝統工芸の技と心を知る～

鑑賞 文化財の保存と修復 ～時代をつなぐ心と技～

音楽 全般

「伝統文化学習～地域の伝統文化に触れてみよう～」仲間と共に村行事を盛り上げよう」

家庭科

3年生「5編Ⅰ章 家庭・家族と地域」家庭生活と地域との関わり

特別活動 「長崎被爆体験～伝承者家族証言講話～」海の安全教室

※長崎より、柿田富美枝さんをお招きして、長崎平和学習（修学旅行）への事前学習とする。

※海上保安庁・名護海上保安署職員を招き、伊平屋島周辺の海の環境と安全について、考えさせる。

これからできること（自分事として、自分なりの実践を…）

○伊平屋のエコツーリズム（環境税は何に使われているの？）

○伊平屋の環境保全と観光業のバランス。

○伝統文化（芸能）や文化財保護・環境保全の取組み。

○伊平屋島～次世代に残したい原風景～の取組について。

「クマヤ洞窟」「神アシアゲ」「伊平屋島念頭平松」の保全。

○「伊平屋ムーンライトマラソン等」観光業について。（ボランティア活動参加）

※伊平屋村で行われて
いる文化財保護や環境
保全などの取組み
（繋ぐ・繋がる・繋げる）

総合的な学習の時間「伝統文化学習・地域探求学習」

【学習のゴール】（体験学習・フィールドワークの取りまとめ）

○国・県指定の文化財に登録されている文化遺産や自然遺産について

プレゼンやポスター、パンフレットでまとめよう。

○「地域伝統文化学習発表会」にて、各グループの実践（舞台）発表。

フィールドワークで感じたことを表現・発表しよう。（伊平屋村歴史文化会館）

○「伊平屋島～次世代に残したい原風景～」風景写真コンテストへの出展

伊平屋島フェリーターミナルでの展示・伊平屋村ホームページ等への掲載

○「伊平屋観光産業センター」へのしおり、パンフレットの展示発表